

3 学校教育の充実

基本目標1 「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、社会を生き抜く力を育む学校教育の充実

社会が激しく変化する中で、次世代を担う子ども達が、「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、ともに、生涯にわたり、自ら学び、考え、協働して課題を解決する力を身に付けることができるように、「主体的に」、「協働的に」学ぶ取組を進めます。

【令和3年度当初予算の主な事業】

(1) 社会のニーズに応じた教育の推進

○ ICTを活用した教育

(学校教育振興一般事業) 3,844万円(昨年度:3,609万円)

(小学校ICT活用教育推進事業)

8,024万8千円(昨年度:6,744万5千円)

(中学校ICT活用教育推進事業)

4,779万円(昨年度:3,619万7千円)

廿日市市立学校の児童生徒が高度情報通信社会に対応できるよう、文部科学省が示す「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022年度)」にある「4校に一人のICT支援員」を配置するとともに、国のコンピュータ整備計画を参考にICT機器の整備及びソフト面の整備を継続し、児童生徒の情報活用能力の育成をします。

○ 国際理解教育事業

5,445万円(昨年度:5,270万1千円)

各学校へのALT(外国語指導助手)の派遣を行います。

(2) 子ども達の状況に応じた教育や心の教育の推進

○ 学校図書の実質(学校図書館活用推進事業)

2,280万円

広島県の補助金を活用し、小学校5校、中学校3校の学校図書館の環境整備及び図書の更新を行います。

○ 安心して学べる学校づくり(学校教育振興一般事業)

2,521万7千円(昨年度:2,408万4千円)

生徒指導指導員、生徒指導相談員、特別支援教育アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等専門家の支援を受け、相談体制を充実させるとともに、条例で設置したいじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会を活用し、いじめへの適切な対応とともに、いじめの未然防止に努めます。

○ 不登校児童生徒への支援(不登校総合対策事業)

1億2,749万2千円(昨年度:1億2,657万3千円)

こども相談室に青少年指導員を配置し、不登校児童生徒の適応指導に関わる相談、学習指導等を行うことにより、不登校児童生徒の居場所を確保し、社会的自立に向けて支援します。また、子どもつながり支援員を各校に配置し、気になる児童生徒にきめ細やかな支援を行います。